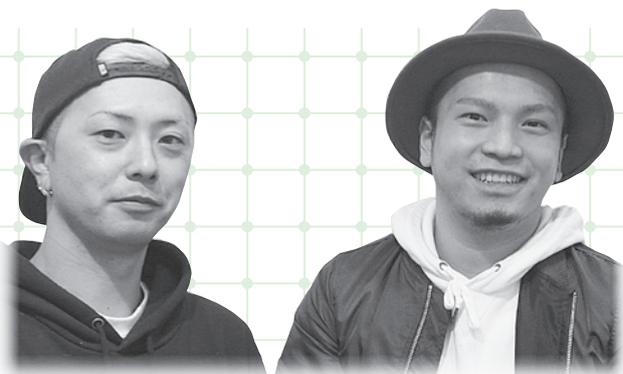


こうほう ショッキング

Vol.93

Kōhō shocking



対馬活性化ユニット「ずんだれ」

ラッパーSHITAN (32歳) ラッパーKORYU (26歳)

●プロフィール

対馬市出身。KORYUが中学生の頃、友達の兄からSHITANを紹介され意気投合し、交流を深めていった。対馬での日常や自分たちの思いを歌詞にして曲を作り、インターネット動画配信サイトやFace bookなどで発表し注目を集める。KORYUの同級生@kihiroがシンガーとして加わり、一昨年7月に1枚目のアルバムを発表。それぞれ働きながら精力的にライブやイベントに出演し、昨年12月には巖原体育館で初の主催ライブ「ずんだれとライブ」を開催した。

○「ずんだれとライブ」というライブ名に込めた思いとは？
SHITAN (以下S) …はじめは自分たちだけのワンマンライブをやろうかと思って、いろんな名前を考えていたんです。でも、一緒にやってきた仲の良い人たちやアーティスト、協力してくれた人たち、そして対馬の人たちとのライブにしたいという思いを、家族とか一族、仲間という意味の「arrive (トライブ)」になぞらえてみました。

○ライブを振り返ってみて、いかがでしたか？
KORYU (以下K) …対馬では、お金を払ってライブを観ることにあまり慣れていないですし、有名な人たちが来るイベントでも集客が難しいのが現状ですから、自分たちにできるんだらうか…って思いも。でも、決めたからにはやろう。「対馬には何も無い」って言うけど、なら作るうって。ライブを作り上げることは、夢や希望を作り上げることもあって、それを僕たちが達成することで、対馬には何もないかと思っている人たちにも何か投げかけられると思っただんです。「ずんだれ」を知ってもらうことプラス思いを認めてもらうことが一番の目標でした。

蓋を開けてみれば約500人の観客で、年齢層も幅広く、島外からも多く参加してくれていました。ライブの反響の大きさに手ごたえを感じています。

○注目度も上がってきているようですが？
S…「ずんだれ」が皆さんの身近になつて、今は土台ができてるところだと思います。以前は島外で「どこから来た？」と聞かれて「対馬」と言えなかつた時代もあったかもしれないけれど、これからは胸を張って言える、そんなものを作るのが自分たちだと思っています。

○卒業して島を離れる高校生の不安や希望を歌った「KIZUNA」も多くの共感を得ている曲の一つですが、実際に若者が対馬を出ていくことについて思うことは？
S…僕は、出て行ってほしくない。でも、やりたいことがここにはないと思うなら、本気でやっつけてこい、って応援して送り出す。で、帰ってくるなら迎えればいい。「がんばっておいで」ってシンプルな思いです。

K…対馬を出ないと仕事がないと思っているかもしれないけど、そうでもないんじゃないかな。今回のライブへの協力をお

願いするために、島内200社以上の事業所を訪ねましたが、人手が足りないという声も聞かえてきました。島内にある企業にも目を向けてみてほしいですね。

○今年の「ずんだれ」どう進んでいきますか？
K…ライブ以降、ずっと走っている感じなので、ずんだれでいきたいですね(笑)。でも『ずんだれ』って『着飾らない』ってことじゃないかな。アーティストだから、有名になつたから、お金持つたから、じゃなく『ずんだれでいよう』って。

S…結局、走りたかつたんだな、って思ってます。走り続けているようで、ふと気づくと木陰でジュース飲んでるような、そんなずんだれ感でやっていきたいですね(笑)。

K…今年も「ずんだれとライブ」を開催します。島内2箇所です。これが目標、という約束します！

毎回、登場してくださった方にご紹介いただきこのコーナー。次回は市内で活動する高校生バンドMusic For Passionの皆さんです。お楽しみに。